

お 知 ら せ
平成 29 年 6 月 8 日
気 象 庁

東南海ケーブル式海底地震観測システムの一時停止について

東南海ケーブル式海底地震観測システムの保守点検作業に伴い、平成 29 年 6 月 12 日（月）より 6 月 14 日（水）まで、東海沖に設置している海底地震計データについて緊急地震速報への利用を停止する時間が発生します。この間は、同海域で発生した地震の緊急地震速報の発表が最大 13 秒程度遅れる場合があります。なお、津波警報および地震情報の発表への影響はありません。

本件に関する問い合わせ
気象庁地震火山部管理課
Tel 03-3212-8341（内 4504、4506）

東南海ケーブル式海底地震計の利用停止時の緊急地震速報への影響について

1. 利用停止期間及び利用停止観測点

緊急地震速報に利用している観測点のうち、東海沖に設置している東南海ケーブル式海底地震観測システムの保守点検を行います。作業に伴い、下記の通り東南海ケーブル式地震計について緊急地震速報への利用を停止する時間が発生します。

[利用停止期間]

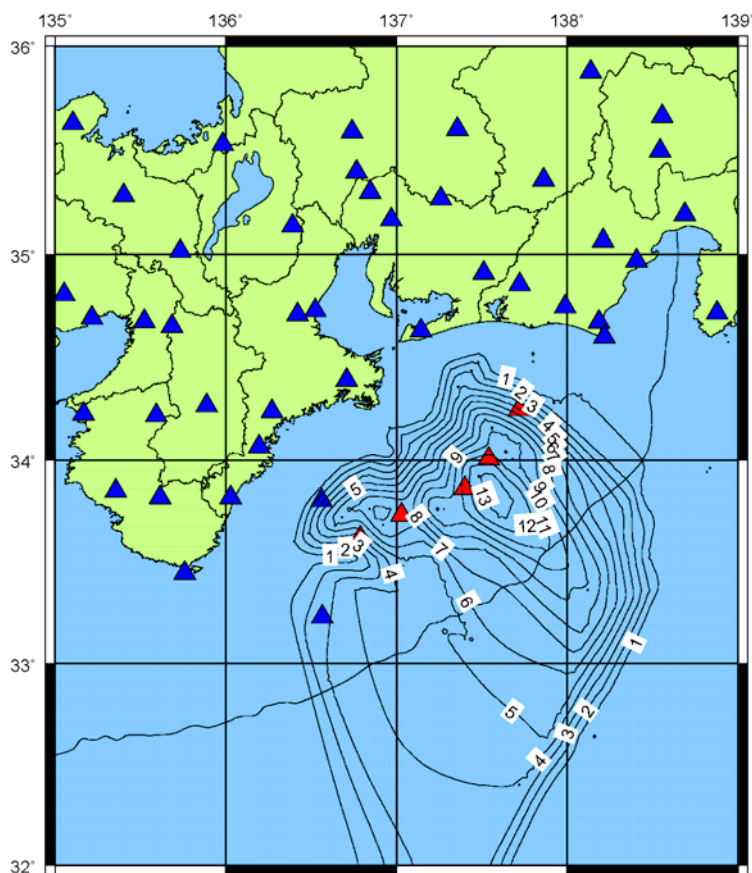
平成 29 年 6 月 12 日～14 日（14 日は予備日）の日中時間帯（9 時～18 時（予定））

[利用停止観測点]

東南海ケーブル式地震観測点 5 地点（下図：赤▲）

2. 利用停止による影響

利用停止期間中に、東南海ケーブル式海底地震計の周辺で地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が通常時に比べて最大で 13 秒程度遅れる場合があります(下図参照)。なお、津波警報及び地震情報については、東南海ケーブル式地震観測点以外の観測点のデータを用いて職員が精査しているため、発表時間や内容に影響はありません。



図中の等値線は、東南海ケーブル式海底地震計のデータ利用を停止した期間に、仮に地震がその場所で発生した際、通常より緊急地震速報の発表がどのくらい遅れるかを、秒数で示したものの。

図中の▲及び▲は、気象庁が緊急地震速報に利用している観測点